



和奈さんコメント：文字の強弱を意識して書きました。元気・明るさ・パワーを与えるような、新しい1年の始まりにぴったりの字になったと思います。

タイトル(題字) 変更しました！

広報
いとまんの

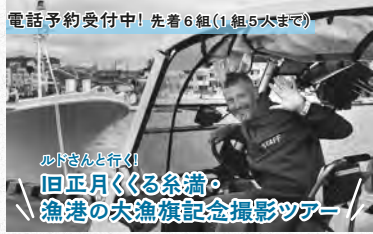
市民の皆さまから親しまれる広報誌を目指して、広報いとまんのタイトルを募集し、去年の10月号から今年9月号まで4人のタイトルを3カ月ずつ掲載することになりました。今月号から3月号までタイトルを担当するのは、この企画2人目となる呉屋和奈さんです。4月号、7月号には新しいタイトルが控えているのでお楽しみに。



【まちのゲートウェイ…くくる糸満】

糸満に移住して、そろそろ2年経っています。その短い期間の中でも市の急速な変化を目撃しています。市役所の隣にある「くくる糸満」(正式名称 糸満市観光文化交流拠点施設シャボン玉石けんくくる糸満)の開業がその一つです。既に利用する機会があった方も多いでしょうが、昨年4月から市民向け、観光者向けにオープンしました。大型演芸会を開催できる大ホール、中型計画に使う多目的室と展示室、料理とダンスを体験する部屋、交流ロビー、野外ステージまで揃って…ジョウトウな施設です。私が個人的に気に入っているのが、地域文化を発信するエリア「常設展示」です。なぜかと言いますと、その1箇所ですべて全体を紹介する展示室で、現代の糸満を理解するストーリーが語られているからです。常設展示室が作られた主目的はまさに、今まで存在しなかったまちへのゲートウェイの役割を果たすためです。糸満市は平和観光地として有名ですが、実は、そのイメージに偏って、他に自然・伝統文化の面での市の魅力が満足に案内されておらず見逃されがちです。しかし、くくる糸満ではそれをバランスよく見せています。市外・県外・国外から訪れた方にも糸満への第1歩として是非おすすめします。

海の豊かさや農地の特長を活かして、我がまちならではの「農家・海人」の生きる技術。各地の景色に刻まれたグスク跡地から発掘された陶器から考える王朝時代の風景。貝塚からでてきた飾り物から想像する糸満の貝塚人の生活。ハーレーや大綱引などの旧暦に沿った伝統行事の由来も楽しく学べる場所で、展示室はまちの隅々に足を運びたくなる招待状のようだと感じます。また、体験型の施設でもあって、ワラビンチャイ(遊び心を持つ大人も含む)が遊びながら自分の海人レベルをタッチパネルで試せる「糸満ことばクイズ」が用意されています。これが意外と難易度が高く、私は何回も悔しい思いをしています。そんな展示室を「見学してみたい」と思っただけにユースです。実は1月22日(日)の旧正月に合わせて、常設展示と糸満漁港の無料ガイドツアーが開催されます。ツアーは展示室を30分案内した後、電気カートの私と一緒に乗って、その日しか見られない糸満漁港の大漁旗の記念写真を撮るという計画になっています。展示室はいつでも見学できますが、この漁港ツアーは完全予約制で先着6組のみ(1組5人まで)になります。ルドさんと一緒にいきたい方、お早め！



予約先: くくる糸満 (098-992-2500)

沖縄県糸満市 Itooman City

■人口			■火災・救急		
	11月	前月比		11月	前年比
人口	62,587	32	火災	1件 (9件)	-4 (-16件)
男	31,724	20	救急	297件 (3425件)	35 (755件)
女	30,863	12			
世帯数	28,065	51			

※()内は令和4年の累計

- 面積 46.60Km² (2021年10月1日現在)
 - 市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル
 - 市の花 日草 ■市の魚 タマン
- (人口、世帯数、火災・救急件数は2022年11月末現在)

糸満市長 當銘 真栄



敷線」の改良工事を実施してまいります。また、橋梁の適切な維持管理を推進するため、計画的に5橋の修繕に着手しており、令和5年度は西崎南橋及び西崎北大橋の改修を実施してまいります。

市営住宅建設につきましては、旧耐震基準で老朽化が著しい4団地に居住している住民の仮移転先として、稲嶺原市営住宅B棟の建設工事に着手し、令和5年度末の完成を目指してまいります。

急傾斜地崩壊危険区域に指定された武富地域については、令和4年度に調査設計を行い、令和5年度から崩壊防止対策工事を実施してまいります。

球場の防球ネットを整備するとともに、プロ野球キャンプや合宿の拠点となる屋内運動場整備に取り組んでおり、令和5年度内の完成に向け取り組んでまいります。街路事業で実施している阿波根兼城線整備、公園事業の児童公園等の既存遊具更新につきましても、継続して整備してまいります。また、真栄里地区物流団地等造成事業を推進するため、土地区画整理事業等の都市計画決定に向けた法手続きを進めるとともに、旧南部病院跡地につきましても、市民ふれあいセンター等の整備に向けて取り組んでまいります。

本市の将来像であります「つながりを深めチャレンジするまち糸満市」を推進するため、市民目線・対話重視の市政運営に取り組んで参りますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、迎える新年が世界と日本にとって平和の年でありますように、また皆さまにとって素晴らしい飛躍の年となりますことを祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。

令和5年新春のご挨拶

つながりを深め チャレンジするまち糸満市

市民の皆さま、新年、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、市政運営全般、特に新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は依然予断を許さない状況にある中、ロシアのウクライナ侵攻を背景とした原油・穀物の供給減、円安進行に伴う輸入品全般の価格高騰など、市民生活に深刻な影響を及ぼしています。

本市におきましては、地元経済を支えるため、事業継続や原油高騰等に対する支援金事業、地

域商品券の活用のほか地域経済に波及の高い公共工事について、対応させていただきましました。

今後とも市民の命と地域経済を守るため、感染予防対策を市政運営の基本軸とし、並行して「ウィズコロナ」、「アフターコロナ」を念頭に2月に行われる千葉ロッテマリーンズの春季2次キャンプ受け入れ、3月には4年ぶりの開催となるいとまん平和トリムマラソンなど、地域活性化に取り組んでまいります。

新年を迎えるにあたり、本年もさまざまな事業を推進してまいります。

本市の市道整備につきましては、既存5路線の整備を推進するとともに、新規路線で「真栄里伊

広報 いとまん

「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書防災課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FMたまん)

- 月～金
- ① 7時45分～7時50分
- ② 12時55分～13時
- ③ 17時55分～18時
- 土～日
- ④ 12時55分～13時